

紀要2号の刊行にあたり

帝塚山学院大学比較文化研究所長

小 松 久美子

帝塚山学院大学比較文化研究所の紀要として『比較文化』2号を刊行します。

この度、発行が予定よりも大幅に遅れました。当研究所の編集体制が整わず、編集作業の遅延により皆様にご迷惑とご不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。特に、研究論文を投稿いただいた執筆者の方々には、ご心配をおかけしました。

ようやく刊行の運びとなりましたが、今回の遅れは私たちの責任であり、皆様に与える影響を真摯に受け止めております。今後このような遅れが生じないように努めてまいります。

この間、世界ではさまざまなことが起きました。2020年に蔓延したパンデミックのため、当研究所主催の国際理解公開講座は中止が続きました。その後、2021年には参加人数を制限しながらですが、再開されました。

本紀要には、2021年に投稿・査読された研究論文、並びに2019年および2021年に開催された同講座の講演録を掲載しています。

紀要『比較文化』は、異文化間の理解を促進し、学術コミュニティの交流を支援する重要な役割を果たすことを目指しています。今後も皆様のご支援とご理解を賜りながら、活動が継続できることを願っております。

何かご質問やご意見がございましたら、お気軽にお知らせください。皆様のご協力とご理解に感謝申し上げます。